

# 学園だより

発行 学校法人  
 ノートルダム清心学園  
 清心中学校  
 清心女子高等学校  
 倉敷市二子1200  
 ☎701-0195  
 TEL(086)462-1661  
 FAX(086)463-0223  
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報 部



## 卒業生へ

校長 Sr. 小谷 恭子

厳しい寒さの中にも春の息吹が感じられる今日、清心女子高等学校第66回卒業式を迎えられた皆さんに心からのお慶びを申し上げます。ご卒業おめでとうございます。これまで皆さんが尽くしてこられた努力と研鑽を讃え、これからの活躍を祈ります。また、今日まで毎日皆さんの健康を気遣い、励まし、支えてこられた保護者の皆さまのお慶びは、いかばかりかと拝察申し上げます。3年間、あるいは6年間いただきましたご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

近年の急激な国際社会の変化、それが与える日本社会のグローバル化や情報化による進展は、私たちの日常生活のあらゆる側面に影響を与え、将来の予測が困難になっていきます。夢と希望に満ちた社会へ踏み出す皆さんは、このような未知の時代だからこそ見えてくる新たな可能性に向かって自分をより向上させる道を勇氣を持って生きてください。

困難な時代を生き抜いた創立者聖ジュリーは、時のしるしを正しく読み取り、目的達成のために人々とともに、人々の協力を得ながら、勇氣を持って困難を克服し、前進

するよう努めました。また、明るい性格と機知に富んだユーモアによってどんな人とも打ちとけて話し、共通の価値観を持つ友人をつくりました。「心を清くし、愛の人であれ」という校訓を体得した皆さんは、入っていかれる社会の中で、人々と共に平和な社会をつくるため、活躍されるよう祈っています。



中3最後の音楽会

## 卒業生に贈る言葉



中学生徒会長 堀内 菜央

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。先輩方はいつも先頭に立ち、私たちを引っ張ってくださったり、部活動や委員会活動などさまざまな面で支えてくださいました。そのような先輩方を見て、私たちは成長することができました。

先輩方から受け継ぐ清心中学校の伝統を守り、私たちが先輩方のように後輩を支えることができるよう頑張っていきたいと思えます。高校に進学されても充実した楽しい学校生活を送ってください。今後の先輩方のご活躍をお祈りしています。



高校生徒会長 藤田 彩乃

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。私たちが下級生にとって三学期は短いものでした。しかし、皆様方にとってはもっと短い時間だったと思います。皆様方は卒業後、様々な道に進まれると思います。きっと高校生活よりも大変だと思いますが、皆さま方なら乗り越えられると信じています。清心が恋しくなった時は、いつでも来てください。皆様方にとって新しい旅立ちが希望で満ちたものになることを祈っています。

## 平成二十六年 岡山県学校文化関係表彰

田中 福人

二月九日、岡山県庁に於いて、平成二十六年度岡山県学校文化関係表彰が行われ、生命科学コース時間生物学グループが第五十八回日本学生科学賞で入選一等を受賞した功績が称えられました。同グループは「植物の就眠運動リズム」をテーマにして、高校二年時から約一年と半年、授業時間に加えて、放課後も使い、研究を積み重ねてきました。表彰を受けて、代表の佐々木さくらさん(三年)は、「このような場に立つことが出来、とても嬉しい。研究を通して得られた知識・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を今後も活かしていきたい。」と感想を述べていました。



表彰状の授与

# 卒業に寄せて

高3生徒 保護者

町田 和江

春まだ浅い今日この頃ですが、卒業生が新しい環境に身を置く頃には、二子の丘の桜も満開に咲き誇り輝いていることでしょう。毎年、当たり前のようを見ていた桜がもう見られないのかと思うと、とても寂しい気が致します。

娘たちは三年間もしくは六年間「心を清くし、愛の人であれ」との校訓を胸に、神様に見守られながら心身共にたくましく成長することが出来ました。いつも順風満帆という訳ではなく、逆風に晒されたこともあったでしょう。そんな時、先生方は進むべき道を的確にお示しください

高3学年主任

田中 美江

ご卒業おめでとうございます。二子の丘で共に過ごした6年または3年間、様々なことが思い出されます。勉強や部活動、行事などに熱心に取り組み、逞しく成長していく姿を間近で見られたことは喜ばしく、いよいよ卒業となると本当に感慨深いものがあります。

学園生活を振り返ると、楽しい思い出もある一方、思うようにいかず悩み苦しんだこともあったと思いますが、紆余曲折を経たからこそ、今の自分があり、仲間との絆も深められたのだと思います。

4月からはそれぞれの道を歩みま

り、友達はそのそばに寄り添い励ましてくれました。そのおかげで前へ前へと進め、今に至ることが出来たのだと痛感しています。

この素晴らしい学園で身に付けた力を、これからの女性が活躍出来るであろう社会で、存分に花開かせてください。清心生だつたという誇りと培われた自信を持ち、努力し躍進して欲しいと願っています。

最後になりましたが、校長先生はじめ、ご指導くださいました先生方、娘たちの学園生活に関わってくださった全ての方々に、心から感謝申し上げます。そして、母なる清心学園の益々のご繁栄を切にお祈り申し上げます。

す。清心生としての誇りを持ち、「心を清くし、愛の人であれ」を胸に、自身を大切にするだけでなく、周囲への気配りや感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる素敵な女性になってほしいと願っています。これから先、困難なことに遭遇したとしてもくじけることなく、自分の可能性を信じて、唯一無二の人生を素晴らしいものにしてください。そして、いつでも学校に帰ってきてください。より一層成長した皆さんの再会を楽しみにしています。

保護者の皆様には、これまで賜りました多大なるご理解とご協力に感謝申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸、卒業生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



中3：記念館前芝生での集合写真



高3：体育祭ダンス

中3生徒 保護者

垣野 志保

春。パステルの可愛らしさあふれるこの季節。修了を迎え、新しい生活はこのパステルカラーそのままに、わくわくした気持ちでいっぱいでしょう。義務教育修了、おめでとうございます。ずしりと重いランドセルを小さな背に、嬉しさと不安の入り混じったあの日から、九年間歩んだ道。

「心を清くし、愛の人であれ」、この言葉のとおり、他を認め、思いやりのある人に育ってくれました。この学園で得た縁を大切に、そして、一人一人自身も大切に

中3学年主任

松本 浩和

真新しい制服に身を包み、初々しい姿で入学してから3年。今はすっかり板につきましたね。生徒のみならず、義務教育修了おめでとうございます。

中学校生活を振り返ると、いろいろな行事がありました。1年生では玉野オリエンテーション。歌や誓いの言葉をすべて覚えて臨んだキャンドルサービスを見事に成功させたあなたたちをとて頼もしく感じました。2年生では林間学校やクリスマススタブローなど大きな行事を自分たちでやり遂げました。3年生のオーストラリア研修では、それまで培っ

に、少しずつ道を切り開く力を身に付けてください。皆さんには、可能性があります。日本のおもてなしの心を持って、グローバルに世界へ羽ばたいて頂きたい。「もてなす」とは、「手厚く取り扱う」とあります。これは、丁寧に日々を暮らすことから生まれるのではないのでしょうか。私達は、そっと見守りながら、側に居たいと思います。

娘達にあたたかく寄り添って下さった清心学園の先生方に、厚く御礼を申し上げます、益々輝かしい母校となりますよう、心よりお祈り致しております。

た英語力を実践するとともに、異文化への理解を深めることができ、貴重な体験となりました。これらの行事を経験したみなさんは、着実に成長したと思います。いよいよ4月からは高校生です。みなさんのよいところは、ご家族をはじめ、あなたを愛する多くの方々のアドバイスを素直に受け入れ、ひたむきに取り組んできたことだと思っております。この姿勢を高校でも続けてください。そして、その教えを土台に、夢に向かって恐れず挑戦をして、3年後にはさらに成長したあなたを作り上げてくれることを願っています。「清心生」後半戦となる高校でのさらなる成長を期待しています。

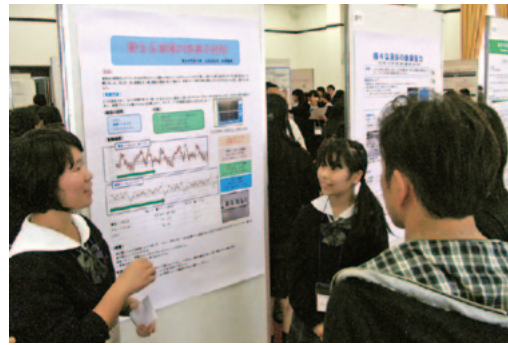
# SSH第二期四年目

統括教務部長 室山 龍三

SSH事業も第二期四年目（通算九年目）をほぼ終えようとしています。指定を受けた当初、SSH校は全国で100校足らずでしたが、その後、新規指定校が加わり、今や200校余りになりました。SSH事業は拡大する価値がある、と文部科学省が判断したのです。

本校のSSHは今年度も課題研究の発表が数々のコンテストで入賞を果たしました。五月の生物系三学会中四国支部大会で最優秀賞2、優秀賞2の上位4賞を受賞したのを皮切りに、八月のSSH生徒研究発表会では科学技術振興機構理事長賞（ポスター発表全国一位）を受賞、十月の日本学生科学賞岡山県知事賞受賞に続く、十二月の東京での中央審査では入選一等等など、大きな賞を複数獲得しました。

課題研究は文理コースや中学三年生にも定着してきましたが、皆が一斉に発表できる場として、本校主催の「集まれ！理系女子」があります。今年度は京都大学百周年時計台記念館で開催しました。あの立派な会場を、一高校が借りることができたのも、これまでの高い実績や、本校を支援して下さる大学の先生お陰があったからです。大きな会場に見劣りしないだけの参加者が全国から集まり、成



集まれ！理系女子：中学生のポスター発表

功の内に終わることができました。

SSH校になって九年、度々全国レベルの賞を獲得してきたことや「科学英語研究会」、「理科教材研究会」などで、全国のSSH校に新しい試みを提案してきたことで、本校もかなりの有名校になりました。全国からの視察や訪問も増え、次の春休みには実績ある横浜のSSH校から、本校へ交流会の申し出もきています。昨秋、ユネスコスクール世界大会を大阪の生徒と共に運営して、たくさんの友人ができたように、SSHの交流を通して、全国各地に友人ができていくのも楽しみなことです。さて、四月からは十年目。百三十年の歴史の中の特長ある十年、その中で過ごすのも何かの縁です。積極的に参加して欲しいと思います。

## 清心学園の高大連携

進路指導部長 多鹿 暢彦

平成二七年度大学入試（現高3生）、昨年末現在の主な合格大学は岡山大2名・香川大1名をはじめ、私立では上智大2名・津田塾大2名・法政大・東京女子大・同志社大・関西学院大3名・神戸女学院大・神戸薬科大などです。ノートルダム清心女子大学（以下NDSU）には44名合格しています。このうち35名は現高3生が一期生となるNDSU特別進学制度により進学する生徒です。

右特別進学制度によるクラスは高校入学後の成績を基に3年次で編成され、在籍生徒は原則として全員NDSUへ進学出来ます。そのため、高3の一年間は高大連携など様々な活動に取り組むことが出来ます。大学で行われる「入学前教育」については今回の「学園だより」に生徒の報告がありますので是非ご覧ください。この制度は大学合格を早めに約束するのが目的ではなく、大学入学後の学習を先取りすることに重点をおいた内容であることが分かります。生徒たちは大学生並みの課題を与えられ大変だと思いますが、一足早く「学問」に触れ知見を広めることができます。また、この制度がノートルダム清心学園一貫教育の柱となることを期待しています。

一般入試を含めた大学合格状況は次号（一一五号）でご報告いたします。

## 生活指導部より

生活指導部長 香川 嗣治

昨年、ある方が公共交通機関での生徒の様子を話して下さいました。残念ながらも話ではありませんでした。「生徒さんは清心の看板背負ってるからねえ。私も会社の看板背負って働いてるんですよ。あんなことしたら、清心はゆうてなりませんよねえ。」と言われました。制服を着ている時、社会は一個人ではなく清心生として認識します。だから苦情も学校にきます。しかし、生徒には「清心の看板を背負ってる」という意識はあまり無いようです。

看板を背負っているという意識は、その組織に属しているという自信と誇りに関係があるように思います。清心生の自覚を持つと言わなくても、自然と清心生であることに誇りを持ってような学校に、もっていきたくて思っています。

## NDSU特別進学制度 一期生

高校3年A組 石黒真衣

「NDSU特別進学制度」の第一期生となれたことに私は誇りを感じています。高校三年の四月から一年間にわたって行われる高大連携型の入学前授業では、大学で講義を聴くだけではなく、大学行事への参加や、志望学科の先輩のお話を聞くなどの体験ができました。一つひとつの体験を通して、大学で学ぶ意義や、入学後にどのような目標をもって学生生活を送り、どう社会に貢献するのかがということを深く考えることができました。

高校生活と入学前授業とを両立させる上で困難もありました。しかし、膨大な課題やレポート、論文、プレゼンなどにも弱音を吐かず立ち向かえたのは、同じ特別進学クラスの仲間や家族、多くの先生方の支えがあったからです。大勢の人からの期待を背負い、自信を持って四月を迎えたいです。

## 訃報



佐藤 誠先生

昨年十二月五日、交通事故のため逝去されました。先生は、丁寧かつ根気強く国語

科の指導にあたりるとともに、担任・学年主任として温かく生徒を見守り、適切なアドバイスで生徒を導かれる姿勢を貫かれました。ソフトボール部顧問として、グラウンドで生徒と一緒に汗を流されまともに過ごした大切な生徒を残して旅立たれたことはさぞ無念のことと思います。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。私たち教職員は先生の教育に対する情熱を引き継いでいきます。

# 生徒会活動報告



中学生徒会副会長  
松浦明日美

私たち中学までし生徒会は十月より活動をスタートし、校内では生徒会だよりの発行、教室や食堂での募金活動、校外では中庄駅での街頭募金、姉妹校へクリスマスプレゼントを贈るなどの活動を行ってきました。ユニセフの募金活動は校内と街頭募金を合わせて二万円以上の募金が集まりました。この募金で一人でも多くの子どもが救われることを願い、ユニセフへ寄贈させていただきました。街頭募金は初めての校外活動だったため少し緊張しましたが、元氣よく呼びかけもでき、よい活動となりました。



高校生徒会副会長  
井関やあめ

先輩から受け継ぎ活動した六十八期生徒会も後輩へと引き継ぐ時期が近づいてきました。私たちにとって初めての仕事だった四月の部活動紹介ではにぎやかな雰囲気です。お迎えすることができました。また九月の文化祭はSMILEをテーマに参加した全員が笑顔になれるよう力を合わせて努力しました。当日は生徒や来客の方々の素敵な笑顔がたくさん見ることができ、とても感動的でした。振り返ると苦労したこともありましたが、多くの方々に支えて頂きながら、無事に活動させて頂くことができました。ありがとうございました。

# 音楽会を終えて

中学校音楽会実行委員長  
中3 小室 桃子

毎年恒例の音楽会。今年も各クラスが少ない練習時間の中で一丸となって取り組みました。今年から、自由曲とは別に課題曲にも挑戦しました。同じ曲でもクラスごとに特色が出ていて歌うことの楽しさを実感しました。一人で歌うことも楽しいですが、大勢で歌う合唱は、歌っている時も歌い終わっただ後も何とも言えない心地よさを感じるものです。

# クリスマス会を終えて

クリスマス会実行委員長  
高1 平木 佑佳

パートごとに練習して声を合わせていく作業は大変ですが、きれいに歌えた時の満足感は最高です。歌のお陰で、クラスの結束も強くなりました。音楽会に感謝です。

今年も中一が一生懸命作ったステンドグラスが飾られ、中二のタブロー、中三のキャンドルサービス、分かち合いでの出し物が披露されました。沢山の方が来てくださり、どの学年も積み重ねた努力や練習の成果が感じられ、心に残る良いものに仕上がっていました。また、待降節の期間中には各学年でプレゼントを作ったり、委員が中心となりクリスマス用品の販売や献品・献金の収集を行い、沢山の団体へ送ることが出来ました。保護者の方々や先生方をはじめとする、たくさんの方々のご協力ありがとうございました。

# 校外活動実績

## ＜SSH関連＞

- ・バイオ甲子園2014 優秀賞
- ・日本動物学会第85回学会大会 優秀賞
- ・高1E 勝良葉月 森年エマ日向子
- ・第53回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・中国四国支部学術大会 高校生オーブン学会賞
- ・優秀発表賞
- ・高1E 勝良葉月 森年エマ日向子
- ・平成26年度日本水産学会秋季大会高校生ポスター発表 最優秀賞
- ・「オオイトサンショウウオの飼育下での繁殖方法の確立を目指して」
- ・高2E 木村佳奈子
- ・第58回日本学生科学賞 岡山県審査岡山県知事賞ならびに中央審査選1等 生命科学コース 時間生物学グループ
- ・「アンジソウの就眠運動の解析III」
- ・高3F 佐々木さくら 高2E 松井千乃

## ＜運動関連＞

- ・平成26年度備中支部高等学校男女バレーボール選手権大会 第1位
- ・平成26年度中国高校バレーボール選手権 第9位
- ・春の高校バレー第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会岡山県 第3位
- ・平成26年岡山県高等学校男女バレーボール選手権岡山県 第3位
- ・平成26年度備南東地区中学校新人体育大会
- ・水泳競技の部 女子総合優勝
- ・女子50m平泳ぎ 第3位
- ・200m個人メドレー 第2位
- ・女子200m平泳ぎ 中2B 田中愛美 第3位
- ・女子400m自由形 中2C 橋 美羽 第2位
- ・200m自由形 中2D 夏目京子 第3位
- ・女子100m自由形 第1位
- ・200m自由形 中1B 桑田陽子 第1位
- ・女子100m背泳ぎ 中1B 桑田陽子 第3位
- ・400mメドレーリレー、フリーリレー
- ・中1C 笹岡英里子
- ・中2D 夏目京子
- ・中1B 桑田陽子
- ・中1B 桑田陽子

## ＜文化関連＞

- ・第64回全国小・中学校作文コンクール岡山県審査 読売新聞社賞
- ・中1B 藤原 唯
- ・第5回政策創造の甲子園 高校生の自主研究発表会 小論文部門 入選
- ・高2A 佐野未可子
- ・第34回岡山県高校囲碁選手権大会 個人戦 第3位
- ・高2C 江原夢乃
- ・倉敷地区高等学校読書感想文コンクール
- ・優秀賞 高1A 藤井 和
- ・優良賞 高2C 石田有沙
- ・佳作 高1E 関川佳那
- ・第5回いっしょに読もう！新聞コンクール
- ・高1D 松岡誠子
- ・中2D 前田萌絵
- ・第60回岡山県児童生徒徒会追展 特選76名 佳作44名 入選7名

## ＜英語関連＞

- ・岡山県高等学校教育研究会英語部会 優秀賞
- ・高2C 井関やあめ
- ・岡山県高等学校教育研究会英語部会 主催高校生英語レターコンテスト 入選
- ・高1E 岡谷実治子

## ＜SSH関連＞

- ・女子400mメドレーリレー 第3位
- ・高1A 元平夏乃 渡部七海
- ・高1D 内山智純 磯山真穂
- ・女子400mフリーリレー 第3位
- ・高1D 渡部七海
- ・高1E 有馬風子
- ・高2A 中島優海
- ・平成26年度岡山県高校テニス等級別C級テニス大会
- ・高2B 馬屋原愛
- ・高1D 森羽彩萌
- ・平成26年度岡山県高等学校バドミントン競技秋季大会 備中支部 東部地区予選会 女子学校対抗戦 第3位
- ・平成26年岡山県中学生弓道大会
- ・女子個人の部 第3位
- ・中3B 森友里恵
- ・第11回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会
- ・個人競技の部出場 中3A 中村妃那
- ・第1回岡山県中学生弓道選手権大会 優勝
- ・中2B 高橋佳子
- ・中3C 植田 華
- ・中3A 中村妃那
- ・第9回倉敷市民スポーツフェスティバル・第30回弓道大会
- ・中1E 総合
- ・中2D 岡本亜美

## ＜文化関連＞

- ・第64回全国小・中学校作文コンクール岡山県審査 読売新聞社賞
- ・中1B 藤原 唯
- ・第5回政策創造の甲子園 高校生の自主研究発表会 小論文部門 入選
- ・高2A 佐野未可子
- ・第34回岡山県高校囲碁選手権大会 個人戦 第3位
- ・高2C 江原夢乃
- ・倉敷地区高等学校読書感想文コンクール
- ・優秀賞 高1A 藤井 和
- ・優良賞 高2C 石田有沙
- ・佳作 高1E 関川佳那
- ・第5回いっしょに読もう！新聞コンクール
- ・高1D 松岡誠子
- ・中2D 前田萌絵
- ・第60回岡山県児童生徒徒会追展 特選76名 佳作44名 入選7名

## ＜英語関連＞

- ・岡山県高等学校教育研究会英語部会 優秀賞
- ・高2C 井関やあめ
- ・岡山県高等学校教育研究会英語部会 主催高校生英語レターコンテスト 入選
- ・高1E 岡谷実治子

# 平成二十六年度 後援会後援委員会報告

平成27年1月8日本校において、委員39名の方々の出席を得て後援委員会が開催されました。協議・報告事項では町田会長が議長となり、次のことが決定されました。

- ① バザー収益金について 収益金の使途については、「校舎改修整備等助成資金」として学校の積立金の一部に充当するとともに、各種福祉施設・団体への「クリスマス献金」の一部として援助することが決まりました。
- バザー収益金 1,197千円
- ② 卒業寄付について バザー収益金の使途と同様に「校舎改修整備等助成資金」として援助することが決まりました。
- 卒業寄付金 1,530千円

- ・五井平和財団・ユネスコ主催 2014年度国際ユース作文コンテスト若者の部 佳作
- ・高2C 井関やあめ
- ・「ユネスコスクールESD優良実践事例集」
- ・高円宮杯第66回全日本中学校英語弁論大会岡山県大会
- ・暗唱の部 金賞
- ・中2A 寺岡久美子
- ・弁論の部
- ・中3B 吉田奈緒子
- ・第4位
- ・中2A 小坂菜摘
- ・第55回ライシャワートロフィー中学生英語スピーチコンテスト
- ・暗唱の部
- ・中2B 加藤りく穂
- ・岡山県高等学校教育研究会英語部会主催 高校生英語スピーチコンテスト
- ・英語部会長賞
- ・高2C 新田真子